I·O DATA

3 Mac OS X 版 セットアップガイド ESA-EXC

B-MANU200921-01

注意 本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
取り付ける前に本製品のシリアル番号をメモしてください。(別紙【①はじめにお読みください】の【箱の中には】参照)

使えるようにする

1 OSを起動します。

まだ本製品を接続しないでください。
本製品は手順4になってから接続します。

2 ドライバソフトのインストールを行います。

❶「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

❷ デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックし、表示された[インストール]アイコンをダブルクリックします。
以降は、画面の指示にしたがってすすめてください。

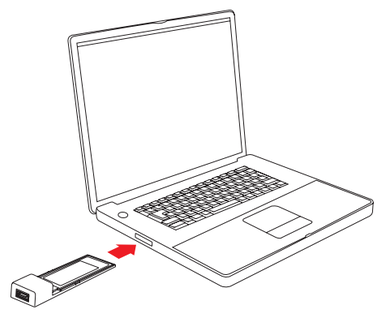
3 パソコンに接続します。

まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶ パソコンの電源が入っていることを確認します。

❷ 本製品のラベル面を上にして、ExpressCardスロットに挿入します。
奥まで確実に挿入してください。

注意 本製品は、ExpressCard規格に準じていますが、ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一抜けますとシステムエラーの原因となりますので、使用時には、本製品が抜けないよう細心の注意を払ってください。
ExpressCardスロットに取り付ける際には、必ずパソコンの取扱説明書を参照してください。
●パソコンの電源が入っている状態で、本製品を挿入します。
●必ずカードのラベル面を上にして挿入してください。
●詳細については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

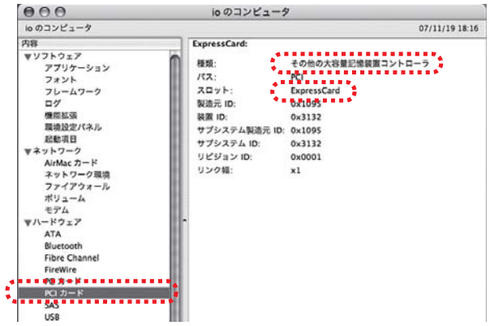


4 取り付けを確認します。

まだ本製品にeSATA接続機器は接続しないでください

❶「システムプロファイラ」を開いて、PCIカードを選択して、「種類:その他の大容量記憶装置コントローラ」、「スロット:ExpressCard」と表示されていることを確認します。

❷ ステータスメニューにカードアイコンが表示されることを確認します。



インストールしたサポートソフトを削除する場合

❶ 本製品に接続されているすべての機器、および本製品を取り外します。
詳しくは、裏面【本製品からeSATA接続機器を取り外す場合】および【本製品をパソコンから取り外す場合】を参照してください。

❷「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

❸ デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックし、表示された[アンインストール]アイコンをダブルクリックします。
以降は、画面の指示にしたがってすすめてください。ます。

eSATA接続ハードディスクを接続する

本製品にeSATA接続ハードディスクを接続する場合、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはMac OS Xの正常動作の妨げとなります。
必ず、eSATA接続ハードディスクに付属の取扱説明書、および、以下の注意事項をお読みください。

eSATA接続ハードディスクを接続する前に

本製品は、Mac OS Xの省エネルギー機能およびスリープ機能には対応しておりません。従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

●省エネルギー画面で、「コンピュータがスリープするまでの待機時間」は、「しない」に設定してください。

●Mac OS X 終了時の「スリープ」は実行しないでください。

裏へ続く

eSATA接続ハードディスクを接続する

! 接続時のポイント

●Mac OS Xが起動した後で接続する

ご利用のパソコンの機種によっては、本製品を取り付けたままパソコンを起動、あるいは、再起動すると、パソコンが正常に起動しない場合があります。
万一、パソコンが起動しなくなった場合は、一度、本製品を取り外してから起動してください。

●ケーブルが抜けないよう細心の注意を払う

ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一抜けますとシステムエラーの原因となりますので、使用時には、本製品が抜けないよう細心の注意を払ってください。ケーブルを取り外す場合は、eSATA接続機器側のケーブルから取り外してください。

弊社HDC-UXシリーズの接続方法については、HDC-UXシリーズの取扱説明書も参照してください。

❶ 本製品を接続していない状態で、パソコンの電源を入れます。

❷ パソコン起動後、本製品のみをパソコンに接続します。

❸ ACアダプターをHDC-UXシリーズに接続します。

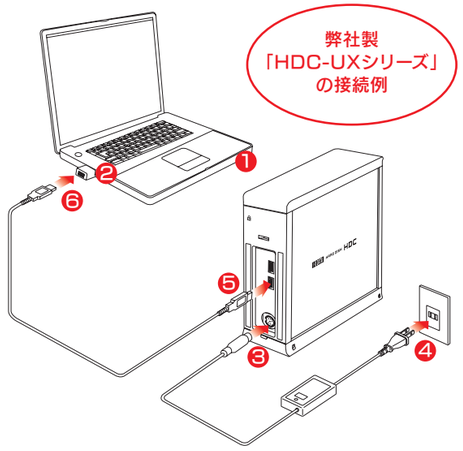
❹ 電源ケーブルをコンセントに接続します。

❺ eSATAケーブルをHDC-UXシリーズのeSATAポートに接続します。

❻ eSATAケーブルを本製品に接続します。

※HDC-UXシリーズの電源/アクセス(POWER/ACCESS)ランプが青色に点灯します。

弊社製「HDC-UXシリーズ」の接続例



注意

●弊社HDC-UXシリーズは、電源連動機能により、本製品に接続してはじめて電源が入ります。
本製品接続前に、HDC-UXシリーズのACアダプターを電源コンセントに接続しておいてください。電源コンセントに接続していない場合、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。

●eSATA接続ハードディスクの動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

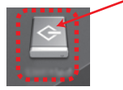
※HDC-UXシリーズには、電源スイッチがありません。
HDC-UXシリーズが正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんeSATAケーブルを抜いてからHDC-UXシリーズのACアダプターを接続し直した状態で、再度接続してください。また、必ずHDC-UXシリーズの取扱説明書もご覧ください。
※アプリケーションなどからeSATA接続ハードディスクが認識されない場合は、Mac OS Xを再起動してお試しください。

eSATA接続ハードディスクの接続を確認する

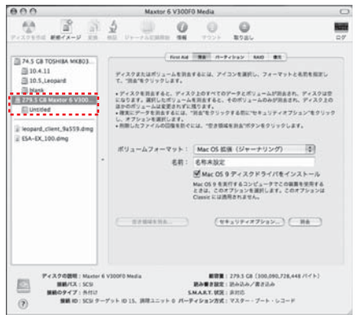
本製品に接続したeSATA接続ハードディスクの接続状態は、Mac OS X上で確認することができます。

❶ デスクトップ上に、本製品のアイコンが表示されていることを確認します。

❷ ディスクユーティリティで、本製品に接続されているeSATA接続ハードディスクを確認します。



eSATA接続ハードディスクのアイコン
(お使いのOSのバージョンによって表示が異なる場合があります。)



▲ディスクユーティリティでの確認画面

上記が表示されていればeSATA接続ハードディスクは正しく接続されています。

eSATA接続ハードディスクの使い方については、本紙には記載されておりません。
eSATA接続ハードディスクの取扱説明書も参照してください。

本製品からeSATA接続機器を取り外す場合

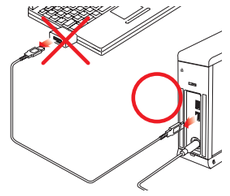
Mac OS X使用中に、eSATA接続ハードディスクを取り外す場合は、ハードディスクアイコンをゴミ箱に捨てた後で、eSATA接続ハードディスクからケーブルを取り外します。

※ポートマルチプライヤーを使用して複数のeSATA接続ハードディスクを使用している場合は、接続しているeSATA接続ハードディスクを全て取り外し、それから本製品と接続しているeSATAケーブルを取り外します。

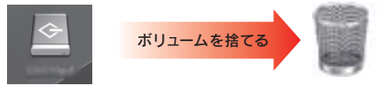
! 取り外し時のポイント

●ケーブルはeSATA接続機器側から取り外す

ケーブルを取り外す場合は、eSATA接続機器側のケーブルから取り外してください。
本製品側のケーブルを取り外す際は、本製品がパソコンから取り外されないようコネクタ部を押さえ、ケーブル先端のプラグ部分を持って取り外してください。
ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一抜けますとシステムエラーの原因となりますので、使用時には、本製品が抜けないよう細心の注意を払ってください。



❶ ハードディスクアイコンをゴミ箱に捨てます。



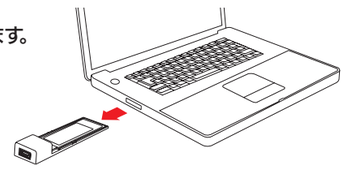
❷ ケーブルを取り外します。

本製品をパソコンから取り外す場合

Mac OS X使用中に以下の手順を行って、本製品を取り外すことができます。

❶ ステータスメニューのカードアイコンをクリックし、[カード電源 切]をクリックします。

❷ 本製品を取り外します。



注意

本製品は、ExpressCard規格に準じていますが、ロック機構のないExpressCardスロットでは、非常に抜けやすくなっています。
万一、取り外し処理が完了する前に抜けますと、システムエラーの原因となりますので、本製品を抜く際には、細心の注意を払ってください。ExpressCardスロットから抜く際には、必ずパソコンの取扱説明書を参照してください。

困ったときには

本製品を使っていて、トラブルがあったときにご覧ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。こちらも参考にしてください。

製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

本製品を取り付けたままパソコンの電源を入れる、または、パソコンを再起動すると、パソコンが正常に起動しない

原因 お使いのパソコンによって、現象が発生する場合があります。

対処 本製品をパソコンから取り外した状態でパソコンの電源を入れます。
パソコンの起動が完了してから、本製品を取り付けてください。

地球環境を守るため、
再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK
大豆インキを使用しています。

Copyright (C) 2006-2007 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.